

当院で診断された子宮体部悪性腫瘍またその前駆病変に関する  
予後等関連因子、バイオマーカー等探索に関する研究

**1. 研究の対象**

1988年1月～2023年12月の間、防衛医科大学校病院で子宮体部にできる悪性腫瘍、またはっきり悪性ではなくとも子宮筋腫、子宮腺筋症や内膜増殖症など子宮の腫瘍病変と診断された患者様を研究の対象とします。手術や治療の有無を問いません。

**2. 研究目的・方法**

子宮体部悪性腫瘍は婦人科三大悪性疾患の一つである子宮体癌や、子宮肉腫などを含む疾患の総称であり、近年我が国で増加傾向にある疾患です。その組織形や関連するとされる遺伝子は様々ですが、その発生や進展には不明な点が数多いのが現状です。そこで、本研究では当院でこれまで蓄積してきた子宮体癌またはその前駆病変として可能性があると考えられる子宮筋腫や子宮腺筋症、子宮内膜増殖症等腫瘍性疾患の患者様の臨床情報や、外来で採取された生検検体、血液検体、採取した腹水検体、手術における組織検体などを使用して包括的に子宮体部悪性腫瘍における予後に関連する因子、バイオマーカー、治療標的分子等の探索を行うことを目的としています。

この研究により患者様を特定する個人情報公開されることはありません。

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報として、患者様の治療時の年齢、治療法、追加治療の有無、癌の組織形、癌の進行度（遠隔転移やリンパ節転移の有無含む）、手術記録、再発の有無、予後などを使用します。

試料としては、外来での生検（病変を少量採取する検査）検体、手術における組織検体（手術で摘出した臓器など）、腹水検体、採血検体などを用います。

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

### 資料 3

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：防衛医科大学校 産科婦人科 講師 宮本守員